

“ITU Telecom World”

(2017年9月)

開催のお知らせと参加ご検討のお誘い



Busan 25-28 September

2017年4月13日版
一般財団法人 日本 ITU 協会

ICT 技術国際標準化のための国連専門機関、国際電気通信連合 (ITU) が主催する『ITU Telecom World』が今年 2017 年 9 月 25 日から 28 日まで韓国・釜山にて開催されます。最新情報、ご参加のメリット、方法などをお知らせします。
ぜひこの機会に、参加のご検討をなさってはいかがでしょうか。

【目次】 <* 各項目にジャンプするには項目をクリック>

- ◆ 1) [ITU Telecom World とは](#)
- ◆ 2) [ITU Telecom World 2017 開催概要と特長](#)
- ◆ 3) [ITU Telecom World 2017 イベント会場](#)
- ◆ 4) [参加者分析](#)
- ◆ 5) [参加により得られるもの](#)
- ◆ 6) [参加費用面](#)
- ◆ 7) [入場\(アクセス\)パス](#)
- ◆ 8) [今後の関連スケジュール](#)
 - (1) 日本パビリオンへの参加検討の皆様へ
 - (2) フォーラムスピーカー・ノミネーション(応募)
 - (3) 参加想定スケジュール
- ◆ 9) [お問合せ先](#)

1) “ITU Telecom World”とは、

* ITU とは: URL https://www.ituaj.jp/?page_id=158 参照

- 世界 193 カ国が国際標準化や国際協力のために集う国際電気通信連合 (ITU) が主催する ICT 最新技術や政策動向に関するフォーラム・展示会
- 1971 年に産声をあげ、爾来、情報通信・放送分野の世界的な祭典として 4 年毎に開催、現在は毎年世界各地にて、2015 年は欧州 (ハンガリー)、2016 年は東南アジア (タイ)、そして今年は東アジア (韓国) で開催
- 各国の情報通信担当大臣をはじめハイレベルな政府・規制当局関係者、世界の情報通信産業界有力企業や ICT 時代に新たな息吹を吹き込む起業家企業を含む中小・中堅企業 (SMEs) のトップリーダー層が多数参加
- 我が国からは、総務省・民間企業が協力し「日本パビリオン」を出展 (日本企業は 1971 年以降毎回参加)

2) “ITU Telecom World 2017”の開催概要と特長

① 開催概要

- 日程 2017年9月25日～28日(4日間)
- 場所 韓国釜山市 Busan Exhibition & Convention Center (BEXCO) ⇒3)項参照
- 目的 社会経済発展に向けたICT革新促進のためのグローバルプラットフォーム(ICT最新技術と政策動向の情報交換の場)提供

② ITU TW17の特長

【特長その1: テーマ設定】

- デジタルエコノミーの進展
特に今年はスマートABCを中心的なテーマとしています。
Smart A (smart AI), B (smart banking), C (smart cities)

【特長その2: 主眼点】

- 各国のトップリーダー層、政策立案者・規制当局者が産業界専門家、投資家、起業家と出会う場
- 社会課題解決ソリューションの展示とナレッジの共有
- ハイレベルでのネットワーキング
- 2015年以降、IoT時代を反映し、社会課題解決イノベーション促進を主眼に起業家企業を含む中小・中堅企業(SMEs)の参画を促進

【我が国SMEs参画: 日本電池再生(2015,2016)

Nextech(2016), SMART-INNOVATION(2016)】

【特長その3: イベントの5つの柱】

- Smart ABCほか主要テーマ(5G、金融、耐災害等)のフォーラムセッション
- 各国パビリオン、企業パビリオン等から成る展示会
- ハイレベル層とのネットワーキング機会
- 表彰—ICT分野でのノーベル賞を目指すITU Telecom World Award
(これまで我が国からのSMEs2社がSME Awardを受賞)
- 各種サイドイベント

【特長その4: 参加国・参加者(2016年)】

⇒ 分析は4)項参照

- 参加国・参加者数 128カ国 8,800名
- グローバル・リーダー参加数 90カ国 337名
- 展示者数 37カ国 250団体
- グローバルメディア数 12カ国 187名

【特長その5: ネットワーキング支援】

- 展示等参加者へはITUテレコム事務局が希望する面談設定等の支援を提供(予定)

3) “ITU Telecom World 2017” イベント会場

イベント会場（釜山 BEXCO）

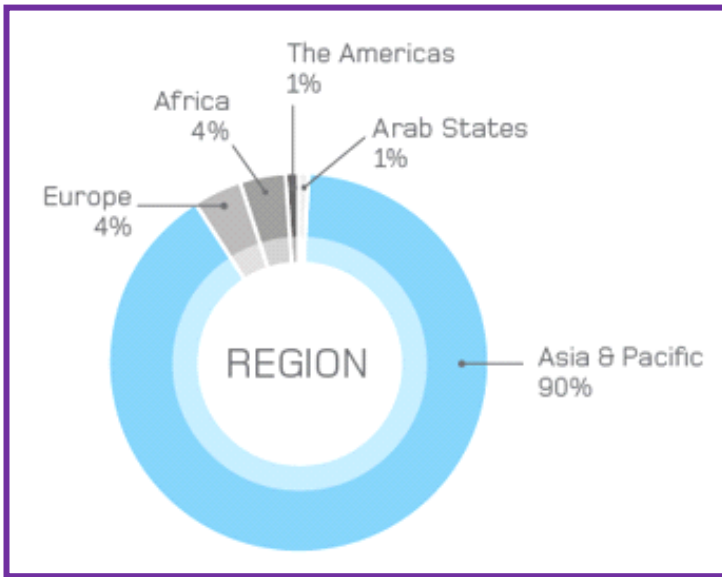
釜山市に所在する BEXCO 会場
釜山市中心部からリゾート地の
海雲台(ヘウンデ)に向かう
センタムシティーに位置。

釜山市最大の展示会場、ここでは
2014 年 ITU の全権委員会議が
開催されました。



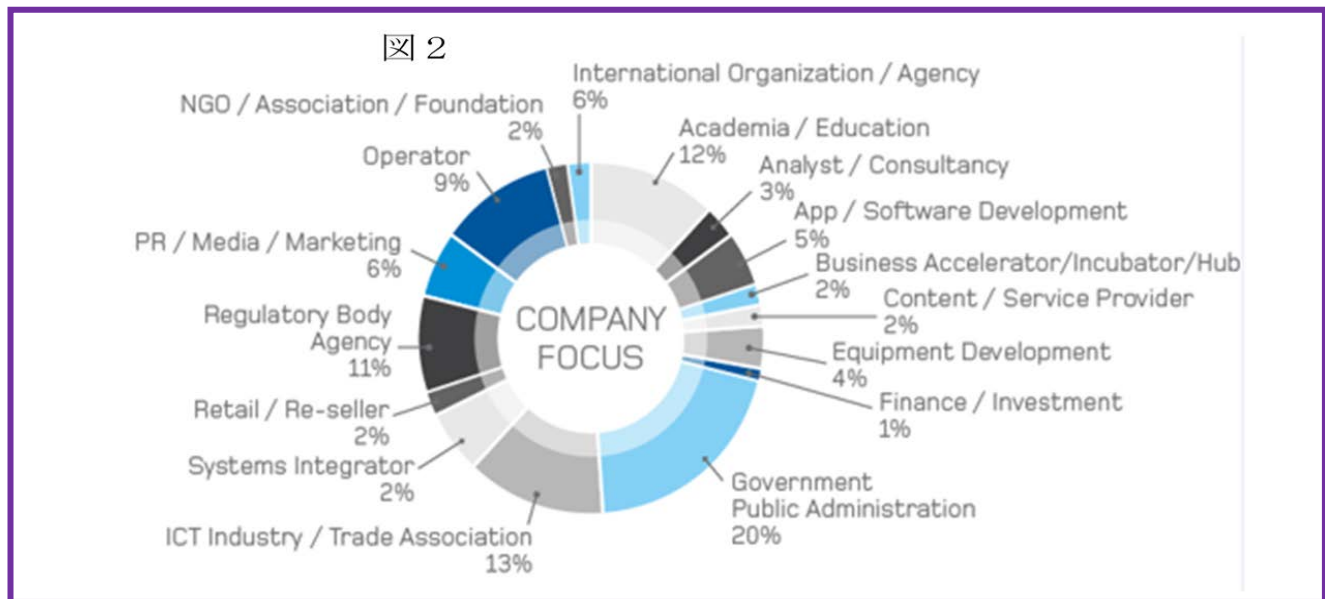
4) “ITU Telecom World 2016(@タイ)”での参加者

(1) 参加者分析その1 (図:ITU 資料より)



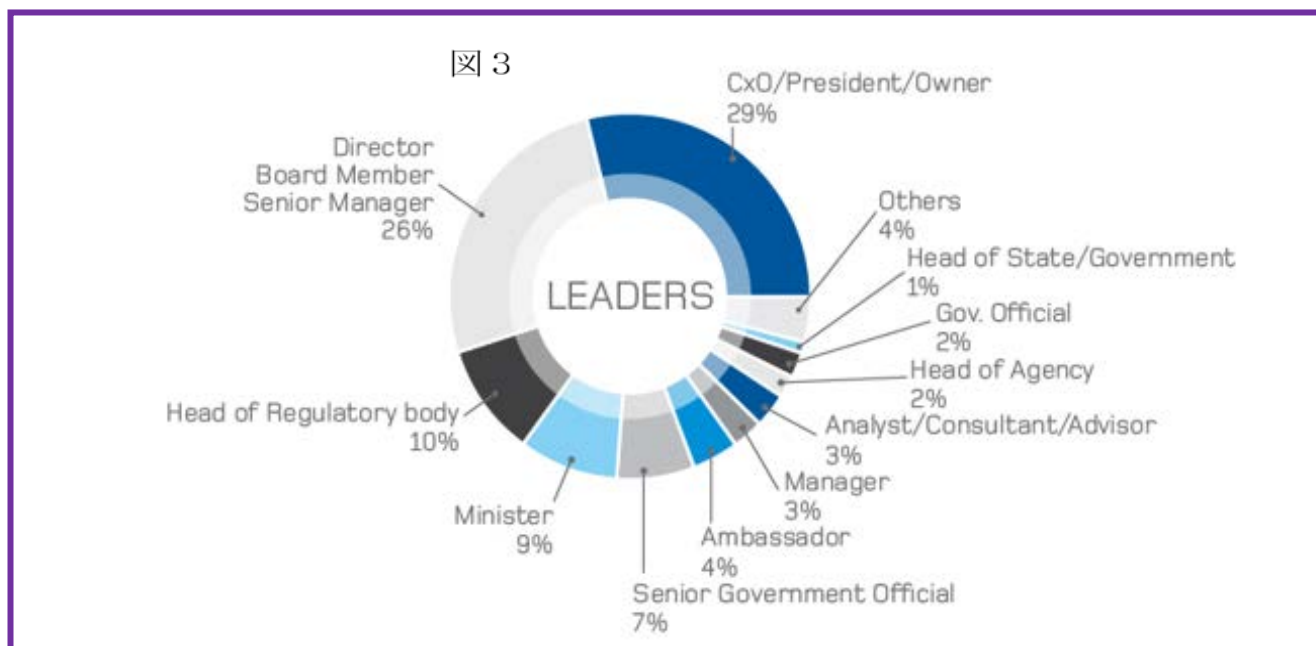
【図1】 2016年バンコクでの ITU Telecom World への参加者は、アジア太平洋地域が90%を占め、欧州、アフリカ地域からはそれぞれ4%。因みに、2015年ブダペストでは、アジア太平洋地域43%、欧州19%、アフリカ14%となり開催地により来場者地域差は異なります。

(2) 参加者分析その2 (図:ITU 資料より)



【図2】 一般的に『ITU世界テレコム』は政府系のイベントと理解されがちですが、図2を見ると、国際機関、政府系と規制当局者は合わせて37%であり、その他63%は、事業者や民間企業・団体（アカデミア12%を含む）からの参加者となっています。

(3) 参加者分析その3 (図:ITU 資料より)



【図 3】『ITU 世界テレコム』は政府系をはじめ、各国のハイレベルな要人が集合する機会との特長を持っています。
図 3 では招待参加リーダー層の分布を表していますが、政府系（大臣級 9%を含み）33%、それ以外は民間層のトップレベルが参加していることがわかります。
こうした層に効率的に知己を得る場として有用と考えられます。

(4) 参加者分析その4

2016 年の Forum 及び展示に参加した主要なスピーカー・展示国(企業)は次のとおりです。2016 年までの詳細は日本 ITU 協会ホームページのビジュアル・レポートをご覧ください。

【主要参加国・参加者(2016 年)】

- ◇ スピーカー： ITU 事務総局長、ルクセンブルグ首相、トンガ皇太子、タイ副首相、UAE 電気通信規制局長、世界各国大臣級、各国民間事業者経営幹部(CEO, COO, CTO 等)他
- ◇ 展示： 中国、韓国、マレーシア等アジア諸国
ルワンダ、ナイジェリア、ケニア、ジンバブエ等アフリカ諸国
その他民間企業



5) “ITU Telecom World”参加により得られるもの

(1) 途上国ビジネス開拓の足がかり

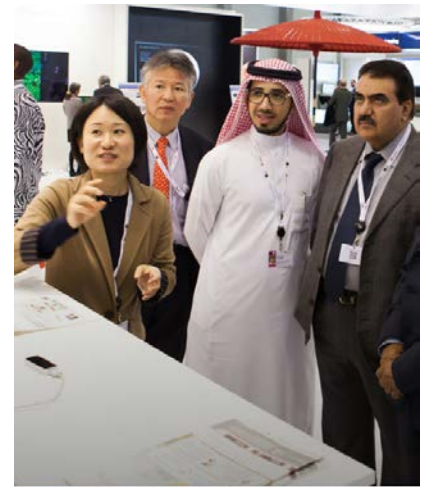
ー途上国政府系・ハイレベル層とのコンタクトー

我が国の ICT 企業が途上国ビジネス開拓を行う際の足がかりとして、ITU Telecom World の特質としてアジア・アフリカ諸国からのハイレベル層参加も多いため、効率的に各国の政府系人脈と知己を得る場として評価する声があります。

これまでに参加された各社の方々も多くの諸外国要人と名刺交換を行えたり、また、自社ソリューションや技術を紹介する中で、意見交換が出来たりして大変有益だったとの評価をされています。

また、テーマ性を持つセッションへのスピーカー派遣による自社アピールの場としての活用もご検討の価値はあると考えられます。

ITU テレコム事務局が「希望する相手先(国)とのビジネスアポイントメント支援」を有効に使うことができれば、より効果的に人脈形成に役立つと思われれます。



(2) 起業家企業を含む中小・中堅企業(SMEs)の皆様にとって



© ITU Pictures

SMEs の皆様にとって、グローバルマーケットへのアクセス機会を得たいと考えた際、自社ソリューションや技術に関する途上国政府関係者の理解、賛同と支援を期待し得る場として ITU Telecom World の場を活用するというのも一考の価値があるかと考えます。

現時点ではグローバル市場での知名度がまだまだとお考えの場合、日本パビリオンの一員として参加する意味は小さくなく、また、各参加社の出展経費抑制のための政府支援が得られれば(現在総務省では検討中)、ご参加の障壁低減となるものと考えられます。

6) 参加に関する費用面

(1) 日本パビリオンに参加展示される場合

皆様にとって参加の費用面は検討の重要なポイントであると認識しています。最近の方向性としては、あくまで費用を可能な限り抑えた日本パビリオン出展を企画してきています。今年も現在総務省が検討中ですので、出展の可否を

含め詳細は未定ですが昨年までのケースにおける負担費用の目安をご紹介します。

【2016年日本パビリオンケース】

総務省支援：日本パビリオンのスペース料を負担。

各出展者費用概算：（出展規模と全体仕様で変動します。あくまで目安です。）

- 主要企業出展規模＋共通費用負担で100万円～200万円
- 最小規模(SMEクラス)＋共通費用負担で約50万円

ただし、これ以外にその他の出展費用(例：自社機器・展示物運搬費・派遣人件費等)を加えて直接費用をご検討ください。



(図：ITU Telecom World 2016での日本パビリオンデザイン)

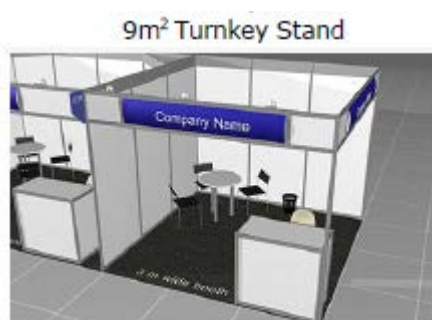
(2) 日本パビリオン以外の単独出展の場合

この場合には、ITUとの間でパビリオンスペースの獲得交渉等を必要となります。スペースの広さ等により、スペース料、造作費用等がかかりますので、一概に負担費用の目安は個別で試算することとなりますので、ご相談ください。

ただし、これまでのケースではSMEクラスの最小規模での出展の場合では、(1)のケースと同様の費用で出展できる可能性があります。(現時点ではITU側から料金等の詳細未発表)

前年までの場合以下がスタンド価格でした。

- 9㎡のターンキー(既製)スタンドの価格：50万円程度
- SMEをはじめ、小規模スタンド(4㎡)の価格：15万円程度



7) 入場(アクセス)パス

ITU Telecom World では、フォーラム・展示会への入場にはアクセスパスの購入が必要となります。アクセスできる範囲によって料金が異なります。パビリオン出展者、フォーラムスピーカー等には無償配布(一定数)があります。また、これまでは現地関係者等を招待するパスも割当てがありました。

日本 ITU 協会では、公認エージェントとしてアクセスパスの斡旋販売を予定しています。お求め易い価格設定でのご提供を予定しています。ITU から料金等詳細発表あり次第、お知らせする予定です。お待ちください。

8) 今後の関連スケジュール

(1) 日本パビリオンへの参加ご検討されたい皆様へ

日本パビリオンへの参加(出展)を前向きにご検討の皆様は、総務省が皆様から参加検討するとのお声をもとに、日本パビリオン出展の可否を決めていくとことです。そこで、総務省での検討タイミングにあわせ、以下の〆切日までに連絡先までぜひご一報ください。正式な決定はまだでも構いません。また、以下の〆切日を過ぎた場合でも、ご希望をぜひともお寄せください。

ITU Telecom World 2017 日本パビリオンへの参加/問合せ (総務省発信メールから (一部省略))

本年9月、国連専門機関の国際電気通信連合 (ITU) が主催する ITU 世界テレコムが韓国・釜山で開催されます。世界テレコムは、情報通信に関する世界的な展示とフォーラムであり、特にアジア・アフリカ諸国の政府関係者や世界各国から産業界のハイレベル層が多く参加することから、御社のサービス/技術のアピール、商談、ハイレベル層とのネットワーキングの絶好の機会です。昨年引き続き、ジャパン・パビリオンを企画しています。総務省としての支援も検討していますので、皆様の参加を是非ご検討ください。詳細等お問合せ先は、下記連絡先(総務省担当課または ITU 公認『世界テレコムエージェント』日本 ITU 協会)までお気軽にどうぞ。

■お問い合わせ:

総務省 情報通信国際戦略局国際政策課、担当 白江、土屋、岩井

TEL : 03-5253-5922、E-mail : ituline@ml.soumu.go.jp

(一財) 日本 ITU 協会 企画部、担当 森、石井、平松

TEL : 03-5357-7610、E-mail : kikaku01@ituaj.jp

参加希望/問合せ〆切 : 2017年4月21日(金) 17:00

(2) フォーラムセッションへのスピーカーノミネーション

ITU Telecom World のフォーラムセッションは、スポンサー企業が独自に企画する場合を除き、ITU がプログラム内容を企画しスピーカーを決定します。現在 ITU がプログラム企画するのに当たり、スピーカー候補者のノミネーション（自薦公募）を募集しています。

ただし、フォーラムセッションは英語かつパネル・ディスカッション形式で行われますので、その点ご承知置きください。

ご関心ある方は、以下の応募方法をご参考に直接 ITU に応募願います。ご不明の点は日本 ITU 協会にお問合せください。

フォーラムセッション・スピーカー応募方法

応募方法： ITU Telecom World 2017 ウェブサイト

(<http://telecomworld.itu.int/take-part/call-for-speakers/>)

応募要件： ① 氏名およびコンタクト先の詳細
② 略歴（英文 200 文字以内）
③ フォーラムで取り上げたい（参画したい）トピックス、
専門分野の概略

問合せ先： ITU フォーラム事務局 forum.telecom@itu.int

応募〆切： **2017 年 4 月 28 日（金）**

(3) 参加の場合の想定スケジュール

参加(出展)のスケジュール感(想定)は以下のとおりです。

4 月末頃	日本パビリオン出展の可否・方向性等総務省決定 (これ以降は日本パビリオンにご出展される前提)
5 月～6 月	日本パビリオン・企画策定、造作会社決定
7 月～8 月	個別スタンド内容の協議・確定 参加登録、アクセスパスの手配
8 月下旬～9 月上旬	展示関係物品等の搬出・現地搬入
9 月 20 日以降	現地展示関係のセッティング等
9 月 25 日	展示開始
9 月 28 日	展示終了＋撤収

9) お問い合わせ先

(1) 日本パビリオンへの出展参加

総務省 情報通信国際戦略局国際政策課

担当 白江、土屋、岩井

TEL: 03-5253-5922、E-mail: ituline@ml.soumu.go.jp

または、

(一財)日本 ITU 協会企画部

担当 森、石井、平松

TEL: 03-5357-7610 E-mail: kikaku01@ituaj.jp

(2) その他のお問合せ

- 単独出展参加
- スピーカーノミネーションの方法
- ご不明な点、ご検討に関する事前のご相談など何でも

(一財)日本 ITU 協会企画部

担当 森、石井、平松

TEL: 03-5357-7610 E-mail: kikaku01@ituaj.jp

本資料の内容は ITU Telecom World 2017 に関する ITU／総務省の発表があり次第、随時アップデートしますのでご注意ください。

10) 参考情報

- ITU Telecom World 2017 (ITU サイト)
<http://telecomworld.itu.int/>
- ITU Telecom World 2016 ほか (日本 ITU 協会ビジュアル・レポート)
<https://www.ituaj.jp/?vreport=039>
- 起業家企業を含む中小・中堅企業(SMEs)向け
「国際標準化機関を通じたグローバルマーケットへのアクセス」
(近日中に協会 HP 上で公開予定:現在準備中)